



教会ニュース

復活のあかし 「エマオへの道」

今月の講話
松尾 太 神父

ルカ福音書にのみ記されたキリスト復活のあかし、「エマオへの道」は本当にうつくしいエピソードです。

桜が次々と花開き、死んでいたように見えた草木も鳥も動物たちも、すべてが春の息吹を受けて新たにされていくのを見ると、私たちのゆく道をいつもともに歩んでくれるかたがいるとわかります。

イエスは、みんなから見捨てられました。だれも見なかったのに歩いてくれる人はいませんでした。

むしろ、だれもいっしょに歩くことはできませんでした。

にもかかわらず、イエスは復活し、自分を見捨ててしまった弟子たちとともにまた歩み始めます。

エマオへの道



しょうか。それはイエスが賛美の祈りを唱え「パンを裂て与えた」ときです。(ルカ 24・30-31)

長崎市若草町6-5
カトリック城山教会
TEL 844-9208
広報委員会

HPアドレス



<http://www2.cncm.ne.jp/~siroyama/>

教皇フランシスコ



今年5月11日(日)に記念される同祈願日のテーマは、「希望の巡礼者・人生の贈り物(仮訳)」。

自らの人生を寛大に捧げ 希望の巡礼者になろう

教皇はこのメッセージで自らの人生を寛大に捧げること、「希望の巡礼者」となるように、喜びと励ましのうちに呼びかけている。

「召命とは、神が心の中に種を蒔かれる尊い贈り物、愛と奉仕の歩みを始めるために自分自身の

ともに食事をするとき私たちがもっと腹を割って話せるようになります。ミサでパンを裂くとき、私たちは十字架の苦しみをへても、なお腹を割って語りかけ、ともに歩みながら、生きることのすばらしさを教えてくれるキリストをあかししています。

この復活されたキリストのいのちを生きようとする私たちは、きょうも主のみことばに耳を傾け、主の食卓である祭壇でいのちのパンを分かち合い、あらゆる人がともに生きるための道を切り拓いたキリストとともに歩み始めます。

外に出るようにとの呼びかけ」であると教皇は述べ、その召命が信徒としてのものであっても、また聖職者や奉獻生活者のものであっても、「教会の中のあらゆる召命は、神が世界とご自分の子らに抱いておられる希望のしるしである」と説いている。

人生の中で働かれる神への信仰に根差す確信と「ええ」と記している。そして、若者たちに向け「神における希望は欺かない。

なぜなら神はご自分に信頼する者の一歩一歩を導いてくださる」からである。

教皇はまず「自らの召命を受け入れる」ことの大切さに触れながら、「すべての召命は、希望により生かされ、それは摂理への信頼へとつながっていく」、「キリスト者にとって希望を持つとは、単に人間的な樂觀ではなく、むしろ、各自の

最後に教皇は「召命の歩みに寄り添う」ことについて、司牧・召命担当者、特に霊的指導者らに対し、希望と忍耐強い信頼をもって若者たちの歩みを神の教育法に委ね、彼らを助けながら、その歩みに神のしるしを注意深く認める、信頼できる賢明な指導者となるようにと願われている。

【日本の教会の意向】
新生活を始める人たちが
新年度の初めにあたり、進学や就職等により、新しい環境で生活を始める人たちが、それぞれの中で神との交わりを大切にしていこうとされています。

【教皇の意向】
新しいテクノロジーの使用
新しいテクノロジーが、人間関係の代わりになるのではなく、人としての尊厳を尊重し、また時代の危機に立ち向かう助けとなりますように。

【教皇の意向】
一日の始まりの時に
神と出会う人々に
きょうのあなたをささげ
一日を閉じる時に
神と出会う人々に
ありがとう ごめんなさい
よろしくおねがいします
と心の中で語りかける日々
を重ねてまいりましょう



4月
「きょうをささげる」

黙想会

黙想会が夜の部は3月23日、25日、昼の部は3月24日、26日に、嘉松広樹神父様（大司教館）により行われ、次のようなことが話された。



「四旬節は洗礼を受けた者にとつては、もう一度信仰を取り戻すとき、研ぎ澄ますときです。四旬節のメッセージとして、教皇様は、ともに希望をもって歩みましよう、呼びかけをしておられます。洗礼のお恵みをふりたたせるために、四つの

柱があります。

一つ目は神様を信じます。つまり父と子と聖霊の神様を信じますという、信仰宣言です。

二つ目は典礼です。典礼の暦を意識しながら、典礼に与ることにより、信仰者として養われていくのです。

三つ目は十戒です。人を、神を愛するために、何に気を付けたらいいか、あるいは、どんなふうにあしらいたいのかということとを教えています。

四つ目は主の祈りです。御子であるキリストが、御父に向けて、一緒に祈るために与えてくれた祈りです。七つの願いがこめられています。これらを、丁寧話されたのが印象的だった。

修了式&終業式

子ども会では3月16日（日）に修了式と終業式を行いました。小学校を卒業する人が3人、中学校を卒業する人が2人、修了式に参加し、松尾神父様から修了証やヘルパーの吉田さん手作りの聖書のカバーなどの記念品が手渡されました。



卒業のみなさん

今年度は高校3年生も修了式の招待状を送ったのですが、残念ながら1人の参加もありませんでした。でも、高校卒業後も教会で活動をしながらい信仰を深めてもらいたいと思います。

修了式はヘルパーとして関わった者には特別な感慨があります。修了者には、聖マリア学院後援会を通してご寄付など、日頃から学院教育活動に対しご支援を賜り心から感謝申し上げます。

ご寄付に感謝

学校法人聖マリア学院
理事長 今田 昌樹

2025年度 隣組長（敬称略）					
1組	東島真奈美	31組	山野 聖子		
2組	村川 博邦	32組	山本 副一		
3組	山本 恒之	33組	福本 則之		
4組	田中 光一	34組	村田 伸児		
5組	中島由香利	35組	徳田なざり		
6組	藤川 義晴	36組	米倉 悦子		
7組	中山 勝美	37組	野口とよみ		
9組	久松 清	38組	島田 和文		
10組	山下 寛臣	39組	金子ユリ子		
11組	島田 隆宏	40組	梅木 明美		
12組	出口 正仁	41組	吉田登美子		
13組	山本 誠喜	42組	池田 豊		
14組	平野 明	43組	松本 武臣		
15組	下見 雪子	44組	入江 敏明		
16組	前川 靖司	45組	古木 秀則		
17組	濱 司	46組	岩村 邦近		
19組A	平野 敏朗	47組	浜村 時雄		
19組B	川端 毅	48組	洗川 涼		
20組	浦越 博昭	49組	戸村 若視		
21組	大田 公教	50組	久保田 栄		
22組	坂元 雅広	51組	平山 修		
23組	横山 勝己	52組	峯 修一		
24組	山田 孝幸	56組	中島 仁		
25組	馬込 順子	57組	小野 勲		
26組	村上 正樹	58組	越山 敏		
27組	田川 照子	59組	片岡 治		
28組	山田 悟	60組A	中尾 博樹		
29組	平口キヨ子	60組B	橋口 義和		
30組	北尾好代子	61組	濱口 賢二		

さて、3月後援会寄付金集金の際、バザーが中止されたための援助金3件と卒業生の信徒様より多額の寄付を頂きました。匿名のため直接お礼を申し上げることができませんが、紙面をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございます。

帰天

3月11日
ドミニカ 内田カズ子さん
（油木町 95歳）
3月18日
ペトロ 中村 照義さん
（花園町 92歳）
（3月30日現在で掲載）

教会行事

《4月 四旬節・復活節》

- 6日（日）四旬節第5主日
朗読（10:00）深町 文子、峯 節代
隣組長会（11:10）信徒会館
- 13日（日）受難の主日（枝の主日）
朗読（10:00）典礼委員
- 14日（月）受難の月曜日
- 15日（火）受難の火曜日
- 16日（水）受難の水曜日
- 17日（木）聖木曜日（主の晩さん）
朗読（19:00）金井 由美、谷本 治美
- 18日（金）聖金曜日（主の受難）大齋・小齋
朗読（19:00）青年部、典礼委員会
- 19日（土）聖土曜日
- 20日（日）復活の主日
朗読（10:00）島田 和文、下村 悟
- 27日（日）復活節第2主日
（神のいつくしみの主日）

《5月 復活節》

- 4日（日）復活節第3主日
朗読（10:00）深井 俊彦、林田 殉二
隣組長会（11:10）信徒会館

学院行事

《4月》

- 7日（月）第1学期始業式（小）、1学期始業式（園）
- 8日（火）2～6年生給食開始
- 9日（水）入学式（小）
- 10日（木）1年生給食開始・地区集会（小）
- 12日（土）入園・進級のつどい（園）
- 14日（月）ゆるしの秘跡（小）
- 16日（水）委員会活動・始業ミサ（小）
- 17日（木）全国学力学習状況調査（6年）
- 18日（金）国際交流（小）
- 19日（土）土曜授業日（小）
- 20日（日）復活祭
- 21日（月）保護者会6年、避難訓練（小・園）
- 22日（火）朝会・保護者会5年（小）
- 23日（水）クラブ活動・保護者会3年（小）
- 24日（木）保護者会4年
- 25日（金）保護者会2年
- 28日（月）歓迎遠足（歓迎集会）※給食なし（小）
- 30日（水）知能検査3年・保護者会1年